

定例公安委員会の開催概要

定例公安委員会は、令和元年12月4日（水）に開催されました。

1 決裁事項

- ・ 特定施設占有者の指定に関する規定の改正について
- ・ 秋田県道路交通法施行細則の一部改正について

2 報告事項

(1) 多言語電話通訳サービスの活用について

県警察から、多言語電話通訳サービスの活用に関する報告があった。

訪日外国人が増加することに伴い、電話通訳サービスを活用し、地理教示や遺失・拾得等、事件・事故以外の届出について、現場警察官の訪日外国人への対応力向上を図るとのことであった。

委員から、『訪日外国人への対応の選択肢が増えてありがたい。ぜひサービスを有効活用していただきたい。』との発言があった。

(2) 秋田新幹線車両を使用した不審者対応訓練の実施について

県警察から、秋田新幹線車両を使用した不審者対応訓練の実施に関する報告があった。

令和元年12月9日、秋田市の東日本旅客鉄道株式会社秋田車両センターにおいて、実際の新幹線車両を使用した不審者対応訓練を実施する。訓練では、想定に基づき、乗客と乗務員の安全確保を最優先とした事案対応要領や避難誘導要領の習熟を図るとのことであった。

委員から、『非常に重要な訓練であり、効果の上がるよう期待したい。』との発言があった。

(3) 年末の交通安全運動の実施について

県警察から、年末の交通安全運動の実施に関する報告があった。

12月11日から12月20日までの10日間、「子供と高齢者の交通事故防止」を基本とした年末の交通安全運動が始まる。各警察署では、関係機関・団体等と連携した各種行事、キャンペーン等を実施するとのことであった。

委員から、『広報を徹底するとともに、パトカーや警察官の姿を見せることが抑止力となる。歩行者ファーストも改めて強く打ち出していきたい。』との発言があった。

(4) 令和元年「テロ対策推進・美の国あきたパートナーシップ」通常総会の開催について

県警察から、令和元年「テロ対策推進・美の国あきたパートナーシップ」通常総会の開催に関する報告があった。

行政と関係機関、民間事業者が緊密に連携し、テロの未然防止対策の強化を図ることを目的に昨年設立した「テロ対策推進・美の国あきたパートナーシップ」について、来年開催予定の「2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会」等に向け、会員間の危機意識を高め、テロ対策を推進すべく、12月9日（月）、令和元年の通常総会を開催するとのことであった。

委員から、『来年はオリンピック・パラリンピックもあるので、万一来に備え、連携をしっかりととっていただきたい。』との発言があった。

(5) 秋田空港ハイジャック事件対応訓練の実施について

県警察から、秋田空港ハイジャック事件対応訓練の実施に関する報告があった。

委員から、『可能な限りの想定をして、充実した訓練にしていきたい。』との発言があった。

(6) 自衛隊との共同実動訓練の実施について

県警察から、自衛隊との共同実動訓練の実施に関する報告があった。

委員から、『それぞれの役割分担をしっかりと確認して、充実した訓練にしていきたい。』との発言があった。